

専門店御用達

シモジマ1号店、馬喰横山店!!

創業100周年の『シモジマ』
戦後の成長は馬喰横山店から始まった

横山町問屋街に仕入れに訪れる専門店にとつて強い味方が「シモジマ馬喰横山店」だ。知らないショップオーナーはない。地下1階から地上5階の売り場には商売を手助けしてくれるショッパー、レジ袋、文具や事務用品、着物の多当紙、スチック用カバーなどもある。「手に入らない物はない」と言えるくらいの品揃えだ。扱う商品は紙製品や包装資材、店舗用品など約10万アイテム。馬喰横山店ではその中から約2万3000アイテムをセレクトし、名入れプリ会員になれば様々な特典もある。

横山町問屋街に仕入れに訪れる専門店にとつて強い味方が「シモジマ馬喰横山店」だ。知らないショップオーナーはない。地下1階から地上5階の売り場には商売を手助けしてくれるショッパー、「パッケージプラザ」を200店超展開している。自社工場を持ち、紙製品や化成品・包装資材は自社オリジナル。

見所は年間20回のイベントを演出する商品の数々だ。歳末やお正月、雛祭りなど店頭やお買い物を楽しくしてもらえるグッズを1階の売り場で特集している。これから季節は10月31日のハロウィンや12月のクリスマスだ。店頭を楽しく演出し、お客様にプラスオンの楽しさを提供する。

ハロウィンではカボチャのキャラクターをデザインしたチャームラングやリボン、手帳などを販売している。クリスマスは年間でも最大のイベントだ。ショッパー



開業した当時の店舗（上）と現在のシモジマ馬喰横山店

東京都中央区日本橋横山町5-1 ☎ 03-3661-8355

環境問題にも積極的

この間、同社が進めってきたのが環境問題に対する取り組みだ。7月からレジ袋有料化が始った。バイオマス成分（植物由来原料）が25%以上配合厚みが50μ（ミクロン）以上がその対象外になると、馬喰横山店から始まつた。

これまで無地、カラー含めて約200種類のレジ袋を販売してきたが、その3割をバイオマス原料製品に切り替えていく。また、厚さ50μ以上の袋に貼付できるシールも販売している。

一方、新型コロナウイルスの感染拡大によつて小売りや飲食店の個性と特徴をどう表現していくかでお客様の満足度は大きく異なるだろう。店頭表現の強い味方だ。

店頭表現の強い味方だ。横山店でも「飲食店のテイクアウト用容器が大きく伸びた」と言う。そこで提案しているのがエコ素材のパッケージ。自生する竹やトウモロコシなど土に還る植物由来の原料の容器を提案している。シモジマは時代とともに進化する企業だ。社会貢献を何よりも大事にしている。馬喰横山店は問屋街を訪れる人々に自社商品を通じてメッセージを送る。

新型コロナに負けてたまるか！



「Seasonal Collection」を発行して、季節のイベントグッズを紹介している